

【i-PRO機器設定】

ナンバーキャッチシステム

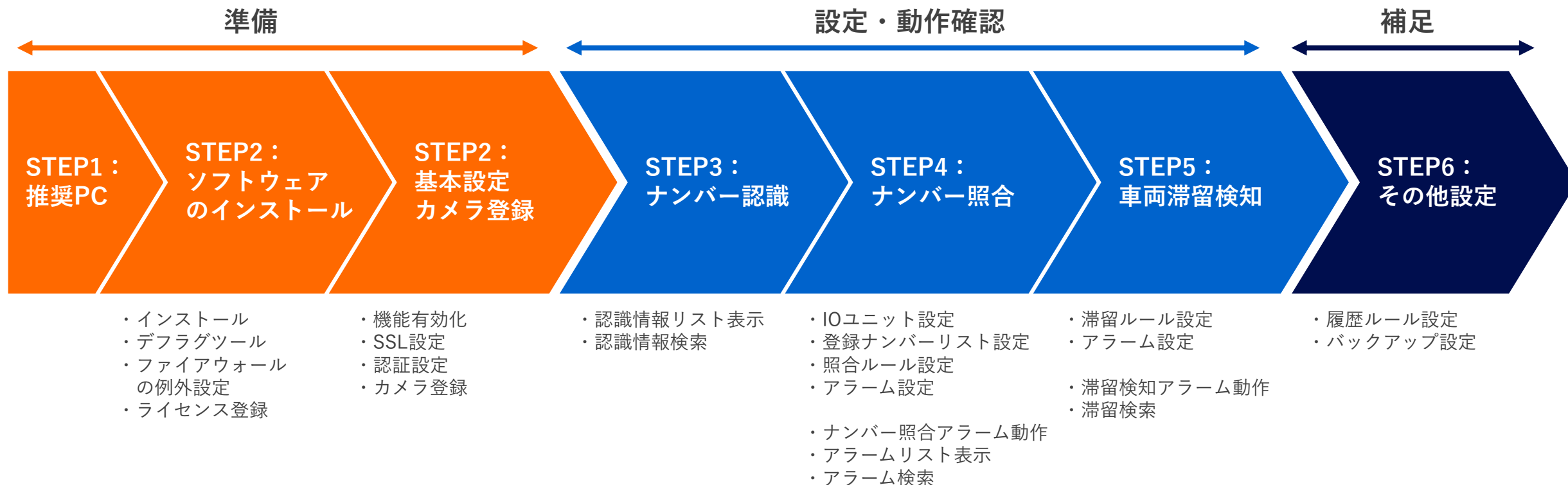
②ASM300編(機能拡張ソフトウェア WV-ASE334WUX)

2025.9

パナソニック コネクト株式会社 現場ソリューションカンパニー
映像メディアサービス本部
プロダクト推進部

本資料はi-PRO AIカメラを使用したナンバー認識システム“NumberCATCH II”のシステム導入を行うための手引きで、AIカメラで読み取ったナンバー情報を映像監視ソフトウェアWV-ASM300のナンバー認識用機能拡張ソフトウェアWV-ASE334にて、ナンバー照合や検索などを行うための作業手順をまとめたものです。

■ 全体フロー



STEP1	ナンバー認識用推奨PC	P.4
1-1	ナンバー認識用推奨PC	P.5
STEP2	ソフトウェアのインストール	P.6
2-1	デフラグ用ツールのインストール	P.7
2-2	機能拡張ソフトウェアのインストール	P.8
2-3	ファイアウォールの例外設定	P.9~10
2-4	ライセンス登録	P.11
STEP3	基本設定・カメラ登録	P.12
3-1	SSL設定	P.13~19
3-2	基本設定	P.20
3-3	カメラ登録	P.21
STEP4	ナンバー認識 動作確認	P.22
4-1	ナンバー認識情報表示	P.23
4-2	ナンバー認識情報検索	P.24~25
STEP5	ナンバー照合 設定・動作確認	P.26
5-1	I/Oユニット設定	P.27
5-2	登録ナンバーリスト設定	P.28~29
5-3	照合ルール設定	P.30
5-4	アラーム設定（照合）	P.31
5-5	アラーム動作（照合）	P.32
5-6	アラームリスト表示 ※滞留検知時含む	P.33
5-7	アラーム検索 ※滞留検知時含む	P.34

STEP6	滞留検知 設定・動作確認	P.35
6-1	滞留ルール設定	P.36
6-2	アラーム設定（滞留）	P.37
6-3	アラーム動作（滞留）	P.38
6-4	滞留検索	P.39~40
STEP7	その他設定	P.41
7-1	履歴ルール設定	P.42
7-2	バックアップ設定	P.43

STEP1 ナンバー認識用 推奨PC

検証済 推奨PC

●HP Elite SFF 800 G9

- ・CPU : インテル®Core™ i7-13700プロセッサ※1
- ・メモリ : 8GBx2 (デュアルメモリ)
- ・OS : Windows® 11 Pro 64ビット日本語版
 - ・検証バージョン : 23H2/ビルド番号 : 22631.2861
- ・グラフィック : Intel(R) UHD Graphics 770
 - ・検証バージョン : 31.0.101.4502



- ※1 Total Cores : 16 Cores, 24 Threads
- Performance Cores : 8 Cores, 16 Threads, 2.1 GHz Base, 5.2 GHz Turbo
- Efficient Cores : 8 Cores, 8 Threads, 1.5 GHz Base, 4.1 GHz Turbo

●NVIDIA Quadro T1000 8GB(ENQT1000-8GER)

- ・検証バージョン : Ver:30.0.14.7444



【注意事項：ナンバー認識アプリ使用時にSSDの追加】 ※内蔵型であればHDDでも可

- ・WV-ASE334UXの処理の仕様上、ナンバー情報を受信して保存するディスクとバックアップを保存するディスクを別にすることを推奨します。
- ・選定するストレージの容量としては、**1世代あたりの最大容量が約15 GB**のため、何世代バックアップするかによってご選定ください。
※出荷状態では3世代までバックアップしますのでその場合は、**45 GB以上**となります。

※特に、通行量の多い案件などデータ保存件数が多い案件ではご対応をお願いします。

バックアップ保存先は増設ハードディスクを推奨します。バックアップ保存先に増設ハードディスクを使用する場合は、増設ハードディスクの空き容量は15GB程度必要です。

STEP2 ソフトウェアのインストール

事前にハードディスクのデフラグ用ツールのインストールを行います。

▶①デフラグ用ツールのダウンロード

- ・「Contig.zip」を以下のURLからダウンロード

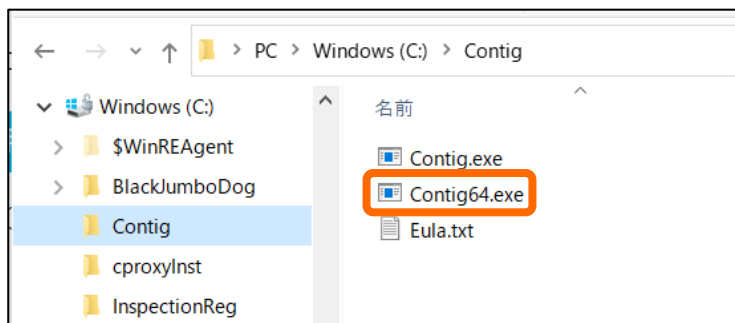
<https://docs.microsoft.com/en-us/sysinternals/downloads/contig>

【参考】

- ・「Contig」は、Microsoft社が提供しているデフラグ用のツールです。
デフラグツールは、ディスクを最適化するためにファイルの位置を物理的に再配置する工具のことです。
- ・「Contig」は、Ver1.8.0.0以降をお使いください。

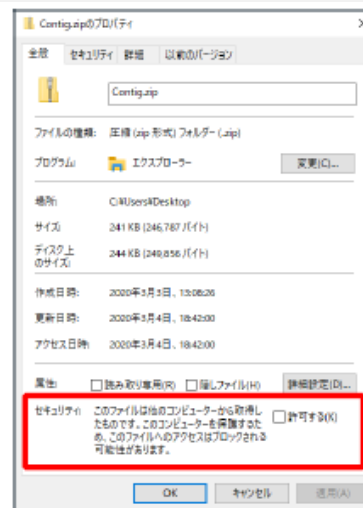
▶②デフラグ用ツールのインストール

- ・ダウンロードした「Contig.zip」を解凍します。
- ・「C : Contig」フォルダを作成し、「Contig64.exe」を保存します。



【注意事項】

- ・Contig.zipを右クリックしてプロパティ画面を開いた時に、図の表示がある場合：「許可する」に✓を入れて、「OK」ボタンをクリックしてから解凍してください。



映像監視ソフトウェア(ASM300)に、 ナンバー認識用機能拡張ソフトウェア(ASE334)をインストールします。

- ① 最新版のWV-ASE334Wのインストーラー「numbercatch.plg」を以下のURLからダウンロード。

https://i-pro.com/products_and_solutions/ja/surveillance/products/wv-ase334wux

- ② ダウンロードした「numbercatch.plg」を任意のフォルダーに保存。

- ③ 映像監視ソフトウェアASM300の設定画面の
「追加アプリ登録」をクリック。

- ④ 右の画面の「参照」をクリック。

- ⑤ ファイル選択画面で予めダウンロードした
「numbercatch.plg」ファイルを選択し、開く。

- ⑥ 画面に“ナンバーキャッチをインストールする”
が表示されたら「インストール」をクリック。

- ⑦ 画面の指示にしたがってインストール。



カメラからのナンバー認識情報を受信するために、 ファイアーウォールの例外設定を行います。

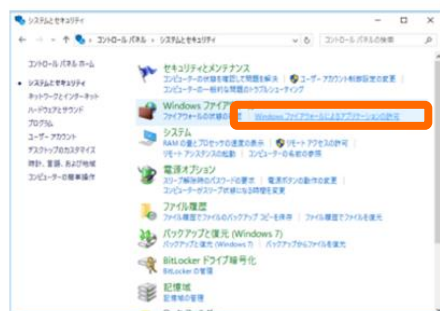
① コントロールパネルの「システムとセキュリティ」をクリック。



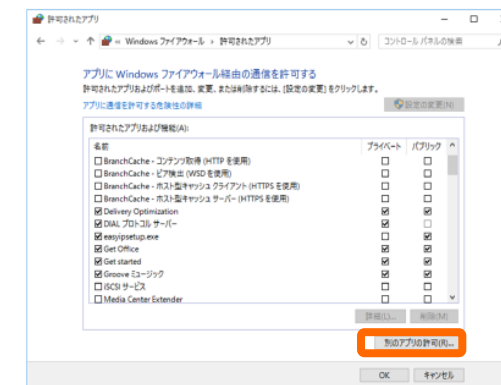
③ 「設定の変更(N)...」をクリック。



② 「Windowsファイアウォール」
⇒ 「Windowsファイアウォールによるアプリケーションの許可」をクリック



④ 「別のアプリの許可(R)...」をクリック。



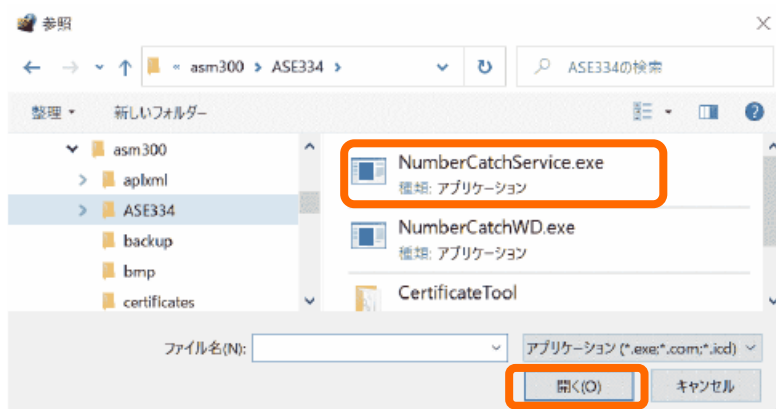
2-3 ファイアウォールの例外設定 (2/2)

⑤ 「NumberCatchService.exe」を選択し、「開く(O)」をクリック。

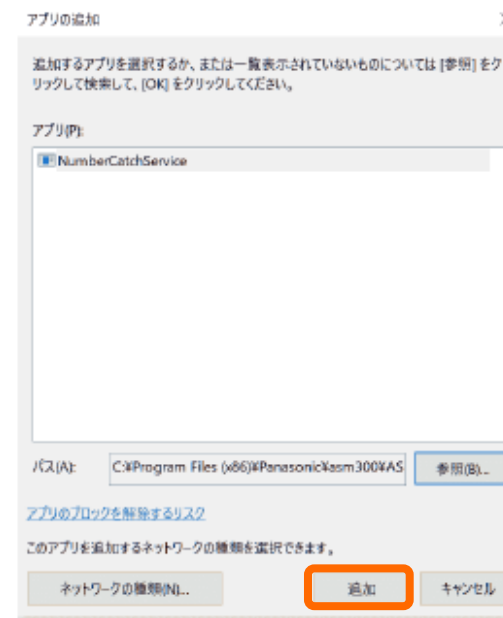
【参考】

「NumberCatchService.exe」は、以下の場所に保存されています。

C:\Program File(x86)\i-PRO\asm300\ASE334



⑥ 「追加」をクリック。



⑦ 元の画面の許可されたアプリのリスト画面に「NumberCatchService」が、登録されたことを確認し、使用するネットワークプロファイルに「✓」を入れる。

許可されたアプリおよび機能(A):				
名前	ドメイン	プライベート	パブリック	グループポリシー
<input checked="" type="checkbox"/> NTP Server	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/> NumberCatchService	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	いいえ
<input checked="" type="checkbox"/> Office	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	いいえ

ナンバー認識用機能拡張ソフトウェア(ASE334)のライセンス解除キーを登録します。

- ① 映像監視ソフトウェアASM300の設定画面の「ライセンス登録」をクリック。
- ② 右の画面の「追加」をクリック。
- ③ 予め取得した解除キーを入力。
- ④ 「入力保存」をクリック。
- ⑤ 入力された解除キー番号の情報を確認し、「登録」をクリック。
- ⑥ 登録確認画面にて「OK」をクリック。



【注意事項】

- 一度登録された解除キー番号は、ASM300上で解除することができないため、入力前に確認をしてください。
- 「OK」ボタンをクリックすると、自動的にASM300が再起動します。

STEP3 基本設定・カメラ登録

ナンバーキャッチ仕様にあたって、SSL設定を行います。

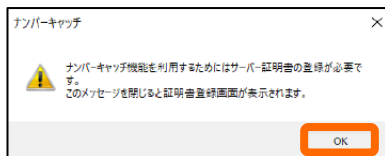
【前提条件】

ナンバーキャッチ利用にあたって、セキュリティの観点からSSL（暗号化通信）の使用を推奨しています。

そのため、ナンバーキャッチ機能の初回使用時は、サーバー証明書を登録してSSLを「オン」にすることが必須です。

サーバー証明書には、信頼できる認証機関が発行したCA(Certification Authority)証明書と、動作確認用として一時的に使用する自己証明書があります。セキュリティへの配慮が必要な環境ではCA証明書を別途購入し、SSLを「オン」にして運用してください。

- ① 映像監視ソフトウェアASM300の設定画面の「ナンバーキャッチ」をクリック。
- ② 右の画面の「ナンバーキャッチサービス」をオンにする。
- ③ サーバー証明書登録の警告画面にて「OK」をクリック。



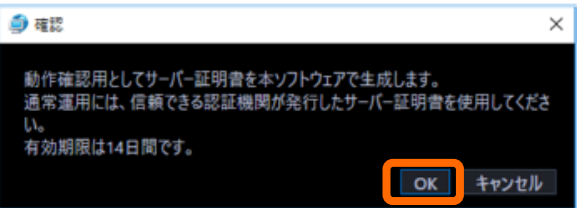
自己証明書の登録を行います。

※動作確認、あるいはセキュリティが担保されている環境でSSLをオフにして運用する場合

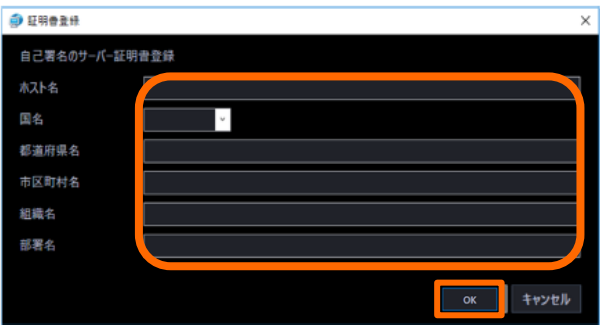
① 証明書登録画面のサーバー証明書（自己署名）の「登録」をクリック。



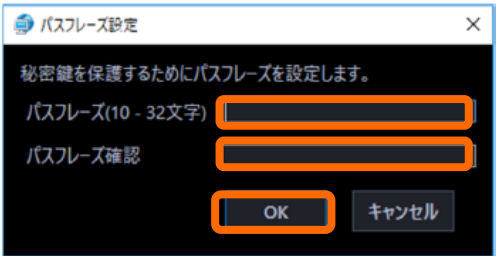
② 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリック。



③ 各種情報を入力した上で「OK」をクリック。



④ パスフレーズ入力した上で「OK」をクリック。



【参考：自己証明書登録情報】

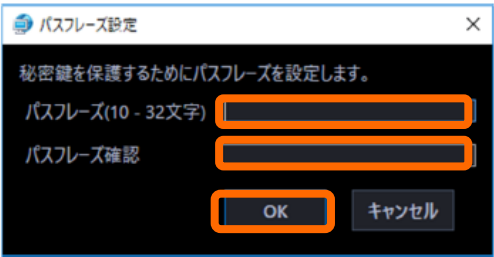
項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
ホスト名	本ソフトウェアをインストールしているPCのアドレスもしくはホスト名を入力します。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～,.,+/()（半角）、 半角スペース	1文字以上、64文字以内
国名	国別記号を入力します。直接文字入力するかコンボボックスから選択します。 ※日本国内で使用する場合「JP」を選択してください。	プルダウンメニューから選択	2文字：国名コード
都道府県名	都道府県名を入力します。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～,.,+/()（半角）、 半角スペース	1文字以上、128文字以内
市区町村名	市区町村名を入力します。		1文字以上、128文字以内
組織名	組織名を入力します。		1文字以上、64文字以内
部署名	部署名を入力します。		0文字以上、128文字以内

【参考：パスフレーズ入力ルール】

項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
パスフレーズ	パスフレーズを入力します。 入力したパスフレーズは「●」で表示されます。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～,.,+/()（半角）、 半角スペース	10文字以上、32文字以内
パスフレーズ確認	設定するパスフレーズを再度入力します。パスフレーズの入力ミスをチェックします。 入力したパスフレーズは「●」で表示されます。		

3-1 SSL設定 (3/7)

④ パスフレーズ入力した上で「OK」をクリック。

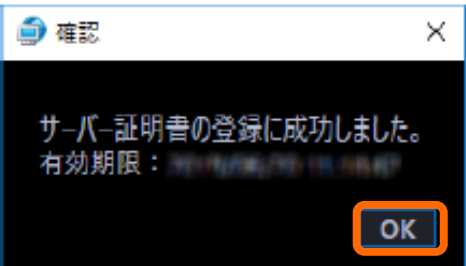


【参考：パスワード入力ルール】

項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
パスワード	パスワードを入力します。 入力したパスワードは「●」で表示されます。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 - _ + / ()（半角）、 半角スペース	10 文字以上、32 文字 以内
パスワード 確認	設定するパスワードを再度入力します。パス フレーズの入力ミスをチェックします。 入力したパスワードは「●」で表示されます。		

⑤ 「OK」をクリック。

以上で動作確認用、もしくはSSLを「オフ」にしたナンバーキャッチ機能の使用が可能になります。



【注意事項】

- ・ SSLを「オン」で使用の場合、14日を超えるとナンバー情報を受信できなくなります。
※自己証明書の再登録が必要です。
- ・ SSLを「オフ」で使用の場合は、14日を超えても使用できます。

CA証明書発行申請に必要な署名リクエスト(CSR)ファイルを生成します。

※発行されたCA証明書は署名リクエストを生成したPCでしか使用できません。

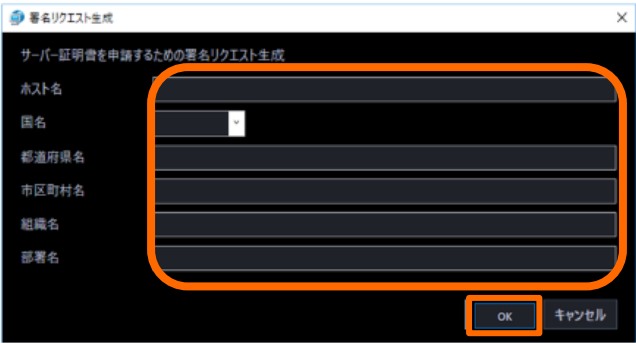
① 証明書登録画面のサーバー証明書（自己署名）の「登録」をクリック。



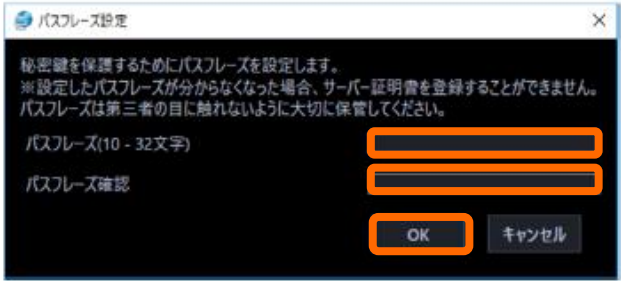
② 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリック。



③ 各種情報を入力した上で「OK」をクリック。



④ パスフレーズ入力した上で「OK」をクリック。



【参考：署名リクエスト登録情報】

※入力する情報は申請する認証機関から要求される内容に従ってください。

項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
ホスト名	本ソフトウェアをインストールしているPCのアドレスもしくはホスト名を入力します。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～_+/()（半角）、 半角スペース	1文字以上、64文字以内
国名	国別記号を入力します。直接文字入力するかコンボボックスから選択します。 ※日本国内で使用する場合【JP】を選択してください。	ブルダウメニューから選択	2文字：国名コード
都道府県名	都道府県名を入力します。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～_+/()（半角）、 半角スペース	1文字以上、128文字以内
市区町村名	市区町村名を入力します。		1文字以上、128文字以内
組織名	組織名を入力します。		1文字以上、64文字以内
部署名	部署名を入力します。		0文字以上、128文字以内

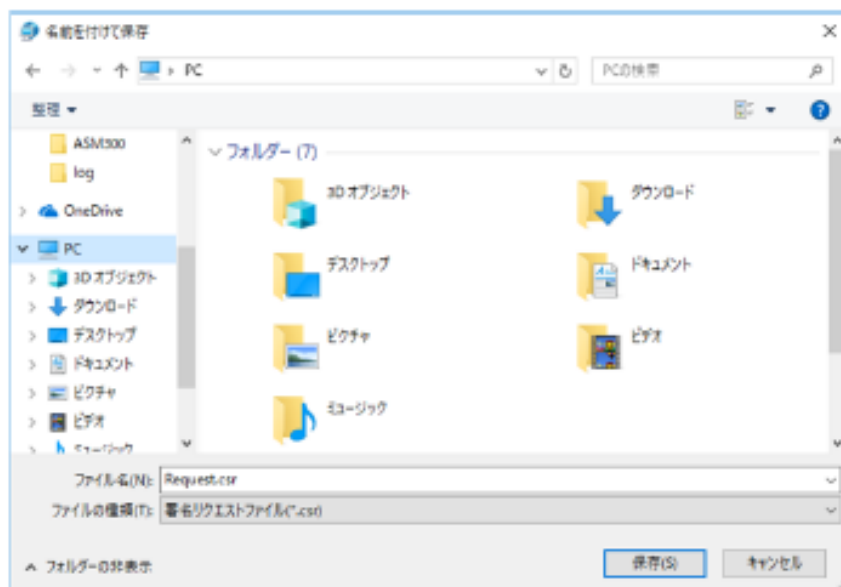
【参考：パスフレーズ入力ルール】

※設定したパスフレーズが分からなくなった場合、サーバー証明書を登録することはできません。

項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
パスフレーズ	パスフレーズを入力します。 入力したパスフレーズは「●」で表示されます。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 ～_+/()（半角）、 半角スペース	10文字以上、32文字以内
パスフレーズ確認	設定するパスフレーズを再度入力します。パスフレーズの入力ミスをチェックします。 入力したパスフレーズは「●」で表示されます。		

3-1 SSL設定 (5/7)

- ⑤ ファイル保存画面が表示されるので、署名リクエストにファイル名を付け、任意のフォルダーに保存。
⇒保存した署名リクエストを使用して、認証機関にCA証明書の発行を申請してください。



【注意事項】

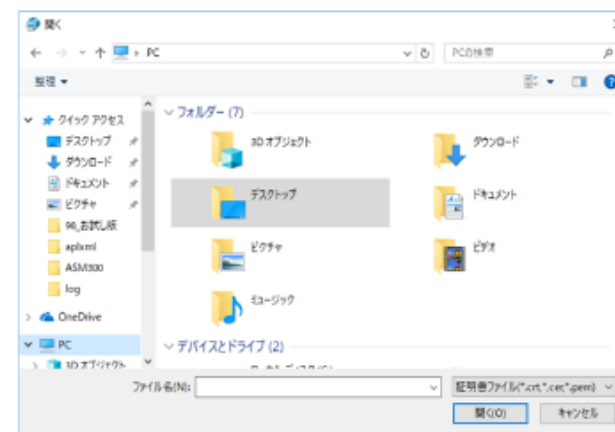
- ・ 生成した署名リクエストを基にCA証明書が発行されます。
署名リクエストを認証機関へ提出した後、再度署名リクエストを生成すると、発行されるCA証明書が使用できなくなります。

認証機関発行のCA証明書を登録します。

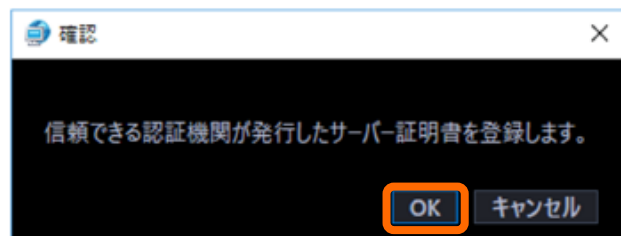
① 証明書登録画面のサーバー証明書（CA署名）の「登録」をクリック。



③ 証明書ファイルを選択し、「開く」をクリック。



② 確認メッセージが表示されるので、「OK」をクリック。

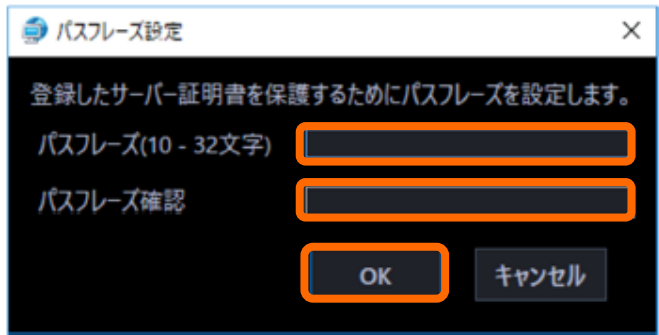


④ 署名リクエスト生成時のパスフレーズを入力し、「OK」をクリック。



3-1 SSL設定 (7/7)

⑤ パスフレーズ入力した上で「OK」をクリック。

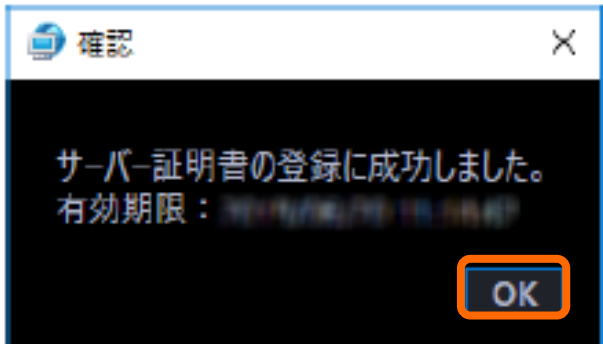


【参考：パスワード入力ルール】

項目	説明	入力可能文字	入力可能文字数
パスワード	パスワードを入力します。 入力したパスワードは「●」で表示されます。	0～9（半角）、 A～Z（半角）、 a～z（半角）、 -._+/()（半角）、 半角スペース	10 文字以上、32 文字 以内
パスワード 確認	設定するパスワードを再度入力します。パス フレーズの入カミスをチェックします。 入力したパスワードは「●」で表示されます。		

⑥ 「OK」をクリック。

以上で、**SSLを使用したセキュアなナンバーキャッチ機能**の使用が可能になります。



ナンバーキャッチの基本設定を行います。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「基本設定」タブをクリック。
- ② ナンバーキャッチサービスを「オン」
- ③ SSLの使用を設定
- ④ ポート番号を入力
- ⑤ ユーザー認証を「オン」
- ⑥ ユーザー名とパスワードを設定（ナンバーキャッチ用）
- ⑦ 最後に「設定保存」をクリック

【注意事項：③④⑥入力項目】

カメラ側アプリ設定(WV-XAE202WUX)とあわせてください。

The screenshot shows the 'Number Catch Basic Settings' screen. At the top, there are tabs for 'Alarm Settings', 'History Rule Settings', 'Backup Settings', 'IO Unit Settings', and 'Maintenance Settings'. Below these are sub-tabs: 'Basic Settings' (highlighted with a red box and circled 1), 'Camera Settings', 'Registered Number List Settings', 'Matching Rule Settings', and 'Retention Rule Settings'. The main settings area includes: 'Number Catch Service' (toggle switch, circled 2 and turned 'On'), 'Version' (V0.68), 'SSL' (toggle switch, circled 3 and turned 'On'), 'Port Number' (text field with '444', circled 4), 'User Authentication' (toggle switch, circled 5 and turned 'On'), 'Username' (text field with 'admin', circled 6), 'Password' (password field with dots, circled 6), 'Password Confirmation' (password field with dots, circled 6), 'Authentication Method' (dropdown menu set to 'Digest'), 'Number Catch Database' (text field with '60001'), and a 'Save Settings' button at the bottom right (circled 7).

ナンバーキャッチで使用するカメラをASM300の機器一覧から取得します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「カメラ設定」タブをクリック。
- ② 左側に表示された機器リストの中から使用するカメラを選択。
 - ・ナンバーキャッチサービスが可能なカメラが表示されます。
- ③ 「→」をクリック
 - ・右側の使用カメラリストに選択したカメラが追加されます。
 - ・使用カメラリストから削除する場合は「←」をクリック。
- ④ 使用するカメラ1台ずつ②③を繰り返す。
- ⑤ 最後に「設定保存」をクリック

【参考】

- ・カメラは最大16台まで登録できます。
- ・レコーダーに登録されたカメラの場合は、機器登録での「ライブ取得先」を“カメラ”にしてください。



STEP 4 ナンバー認識 動作確認

4-1 ナンバー認識情報表示

カメラで認識した全てのナンバー情報を画面に表示します。

① ASM300の操作モニターのツールバーの「ナンバーキャッチ」アイコンをクリック。



② 画面上部の「認識情報」タブをクリック。

③ 「オートスクロール」をクリックしON(緑)にしておくと、
カメラでナンバーを読み取る度に、最新のものから上から順に
ナンバー情報が自動的にスクロールして表示されます。

④ リストを選択すると、画面右側に詳細な認識情報が表示されます。

⑤ リストをダブルクリック、または「再生」をクリックすると、
操作モニターでナンバー認識時のカメラ映像が再生されます。
(カメラがレコーダーに登録されている場合)

⑥ 「登録ナンバー追加」をクリックすると、
ナンバー照合用に登録ナンバーリストへの追加ができます。

⑦ 「編集」をクリックすると、認識したナンバー情報の編集ができます。



- ・本画面で表示できる認識情報は、最新のものから最大100件までです。(履歴は最大80万件まで保存可能)
- ・同じ車両でも、認識した各項目(陸事・車種・用途・一連番号)が1つでも異なれば、別の車両としてそれぞれ表示されます。
- ・また、同じナンバー情報であっても以下の場合は複数件表示されます。

① ナンバー認識中に外的要因でナンバープレートが未検出となり再度認識したとき。

② カメラ側の入場/出場設定を自動にしている場合に、通過中に車両が上下動したとき。

条件を指定して、認識したナンバー情報を検索します。

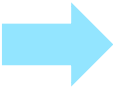
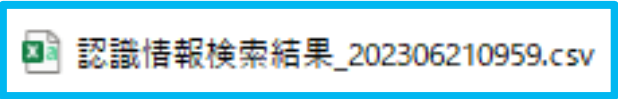
- ① ナンバーキャッチモニターの「認識情報検索」タブをクリック。
- ② カメラ（場所）を選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ③ 陸事・車種・用途・一連番号を入力。
指定しない場合は、陸事は“すべて”を選択し、他は空白とする。
- ④ 入出区分（入場／出場）を選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ⑤ 照合結果（一致／不一致）を選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ⑥ 開始日時と終了日時（検索対象期間）を入力。
- ⑦ 比較方法（完全一致/部分一致）を選択し「検索」をクリック。
→ 対象となるアラーム履歴を最新から順に表示
※「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?”も使用可能
例) 一連番号に“77?”入力 ⇒ “770”, “777”, “779”等の3桁番号が該当
- ⑧ リストを選択すると、画面右側に詳細な認識情報が表示されます。
- ⑨ リストをダブルクリック、または「再生」をクリックすると、
操作モニターでナンバー認識時の映像が再生されます。
(カメラがレコーダーに登録されている場合)
- ⑩ 「登録ナンバー追加」をクリックすると、
ナンバー照合用に登録ナンバーリストへの追加ができます。
- ⑪ 「編集」をクリックすると、認識したナンバー情報の編集ができます。



- ・ 一度の検索で表示できる認識情報は、最大1,000件（表示は1ページ最大100件）までです。
検索結果が1,000件以上の場合は、検索条件を変更して1,000件以内にしてください。
1,000件を超えた場合、最新から1,000件を表示します。（履歴としては最大80万件まで保存可能）
- ・ 全景画像は最新から5,000件までの情報に表示されます。
それより古いものはサムネイル画像（ナンバー画像）が表示されます。

4-2 ナンバー認識情報検索 (2/2)

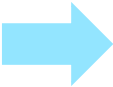
- ⑫「CSV出力」をクリックすると、
検索結果をCSV形式でファイル出力します。



■ CSV出力例

//照合結果	認識時間	照合ルール名	カメラ名	入力端子名	陸事	車種	用途	一連番号	入出区分	有効期限	付帯情報1	付帯情報2	付帯情報3	付帯情報4
	2023/6/8 18:56		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 18:55		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 18:55		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 18:55		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 18:48		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 15:31		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 15:30		CAM2		山形	599	あ	2046	入					
	2023/6/8 15:30		CAM2		山形	599	あ	2046	入					

- ⑬「HTML出力」をクリックすると、
検索結果をHTML形式でファイル出力します。



■ HTML出力例

ナンバーキャッチレポート

出力日時 2023/06/21 09:59:05

検索条件

カメラ名	すべて		
陸事	山形	車種	
用途		一連番号	
入出区分	入		
照合結果	すべて	西入力端子イベントを含む	
開始日時	2023/06/08 09:00:00		
終了日時	2023/06/08 21:00:59		

検索結果

照合結果	認識時間	照合ルール名	カメラ名	入力端子名	認識結果	全画面画像	入出区分	付帯情報1	付帯情報2	付帯情報3	付帯情報4
	2023/06/08 18:56:04		CAM2		山形 599 あ 20-46		入				
	2023/06/08 18:55:56		CAM2		山形 599 あ 20-46		入				
	2023/06/08 18:55:40		CAM2		山形 599						

※デモ実施後の結果報告用途等でご活用ください。

STEP 5 ナンバー照合 設定・動作確認

アラーム出力時に外部機器と連動させるためのI/Oユニットの設定を行います。 (I/Oユニットから接点信号を出力して、外部機器を制御します。)

① ナンバーキャッチ設定画面の「I/Oユニット設定」タブをクリック。
以下、出力側について設定を行います。

② 使用するI/Oユニットの品番を以下より選択。

- ・ ADAM-6250：出力7系統（CH0～CH6）
- ・ ADAM-6256：出力16系統（CH0～CH15）

③ IOユニットのIPアドレスを設定

④ ポート番号を設定 → “502” にする

⑤ 各CHの端子名（動作や用途）を入力。

⑥ 出力時の接点信号のオン時間を選択。

⑦ 最後に「設定保存」をクリック

CH	モード	端子名
0	L→H	
1	L→H	
2	L→H	
3	L→H	
4	L→H	
5	L→H	
6	L→H	
7	L→H	
8	L→H	
9	L→H	
10	L→H	
11	L→H	
12	L→H	
13	L→H	
14	L→H	
15	L→H	

CH	端子名	時間設定
0	パトライト：緑	5秒
1	パトライト：赤	60秒
2	ゲート：OPEN	600ミリ秒
3	ゲート：CLOSE	600ミリ秒
4	出力端子4	5秒
5	出力端子5	5秒
6	出力端子6	300ミリ秒
7	出力端子8	5秒
8	出力端子9	5秒
9	出力端子10	5秒
10	出力端子11	5秒
11	出力端子12	5秒
12	出力端子13	5秒
13	出力端子14	5秒
14	出力端子15	5秒
15	出力端子16	5秒

【注意事項：IOユニット（ADM-6250/6256）の出荷時の接点出力動作】

パルス出力でノーマルオープン（NO）です。変更はIOユニット側で行う必要があります。

ナンバー照合の対象となるナンバー情報を登録します。

※登録方法：「手動」「CSV入力」「認識情報やアラーム情報のリストから登録」

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「登録ナンバーリスト設定」タブをクリック。
初期状態では「登録ナンバーなし」(空のリスト)が登録されています。
※リストは最大10件まで
- ② 初回登録時は「登録ナンバーなし」を選択。
新リストを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ 登録ナンバーリスト名を入力。 ※最大16文字

▶手動で1件ずつ登録する場合

- ④ 「登録ナンバーの追加」をクリック。
- ⑤ 登録する車両のナンバー情報の「陸事」「車種」「用途」「一連番号」を入力。
- ⑥ 照合動作に有効期限を設ける場合は「有効期限」とする日時を入力。
- ⑦ 登録する車両についての関連情報等も登録する場合は、「付帯情報」を入力。
※最大4項目、各最大12文字
- ⑧ 登録する車両についての画像も登録する場合は、
「参照」をクリックし、登録する画像ファイルを選択。
※画像形式は、jpg, png, bmp サイズは、127KB以下
- ⑨ 続けて登録する場合は④～⑧を繰り返し、最後に「設定保存」をクリック。

【注意事項】

- ・ナンバーの登録は、最大10リスト、1リストあたり最大25,000件までできます。
- ・画像を登録できるナンバーは最大5,000件までです。
- ・「陸事」のみ入力したナンバーリストを作成すれば、「陸事」単位での照合も可能です。
- ・付帯情報や画像に個人情報を登録した場合、お客様において法令が求める対応が必要となります。

5-2 登録ナンバーリスト設定 (2/2)

▶CSVファイルで一括登録する場合

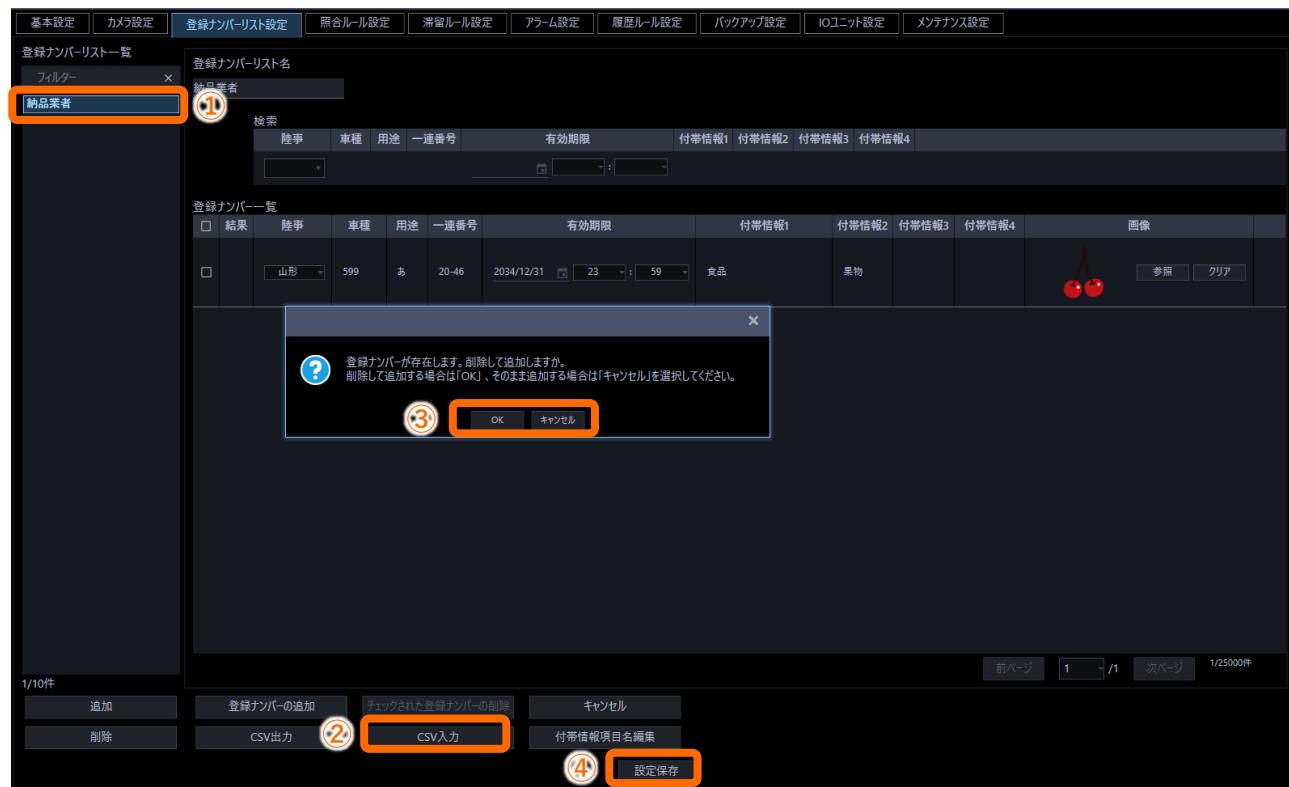
- ① 登録先の登録ナンバーリストを選択。
新規リストとする場合は「追加」をクリック。
- ② 「CSV入力」をクリック。
- ③ リストに登録ナンバーが存在する場合は、
現在の情報に上書き(現内容は削除)するか追加するかを選択。

上書きの場合：「OK」をクリック
追加の場合：「キャンセル」をクリック

要注意
- ④ 別のファイルからも追加登録する場合は②～③を繰り返し
最後に「設定保存」をクリック。

▶認識情報やアラームリストから登録する場合

別ページの「ナンバー認識情報表示・検索」や
「アラームリスト表示・検索」の項目を参照



■ CSV入力例 ※画像はCSV入力の対象外です。

		有効期限	①陸事	②車種	③用途	④一連番号	付帯情報1	付帯情報2	付帯情報3	付帯情報4
空欄	空欄	2034/12/31 23:59	多摩	500	あ	2020	XXX	XXX	XXX	XXX

※ 入力時の注意事項：

- ・有効期限空欄でCSV入力すると … デフォルト値「2034/12/31 23:59」で自動登録
- ・全角/半角の区別について … ②車種：全角でも半角でも可 ④一連番号：全角でも半角でも可 有効期限：全角入力するとデフォルト値が反映 付帯情報：全角半角混在でも可



照合に使用するカメラや照合方法・照合対象を設定します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「照合ルール設定」タブをクリック。
初期状態では「照合ルールなし」(空のルール)が登録されています。
※ルールは最大10件まで
- ② 初回登録時は「照合ルールなし」のルールを選択。
新たなルールを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ 照合ルール名を入力。 ※最大16文字
- ④ 照合対象となるカメラをチェック。
- ⑤ 照合対象となる登録ナンバーリストをチェック。
- ⑥ 照合方法を「一致」か「不一致」かを選択。
- ⑦ 照合対象とするナンバー情報の項目をチェック。
「陸事」「車種」「用途」「一連番号」
- ⑧ 照合対象とする入出区分をチェック。「入」「出」「指定なし」
- ⑨ 最後に「設定保存」をクリック。

- ・ 照合ルールは最大10ルールまで作成できます。
- ・ 未登録車両に対してアラーム動作を行うには、未登録車両用のルールを以下のように作成します。

- ⑤ 照合対象となる登録ナンバーリスト → 全てチェック
- ⑥ 照合方法 → 不一致

ナンバー照合時のアラーム動作を設定します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「アラーム設定」タブをクリック。
初期状態は「アラームなし」（空のアラーム）が登録されています。
※動作は最大100件まで
- ② 初回登録時は「アラームなし」のアラームを選択。
新たなアラームを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ アラーム名を入力。 ※最大16文字
- ④ アラームタイプは「照合」を選択。
- ⑤ 対象とする照合ルールを選択。
- ⑥ アラーム時にポップアップ画面表示する場合：
「メッセージ」にチェック ⇒ 「編集」をクリックし、表示メッセージを入力。
⇒ 「付帯情報」や「画像」も表示する場合はチェック。
※最大50文字
- ⑦ アラーム時にPCから音を鳴らす場合は「ブザー鳴動」にチェック。
- ⑧ アラーム時に映像表示する場合※
「映像」にチェック ⇒ 「ライブ」か「再生」かを選択 ⇒ 表示するカメラを選択
- ⑨ アラーム時に外部機器と連動させる場合：
「端子出力」にチェックし、IOユニットの出力端子を選択。
- ⑩ 最後に「設定保存」をクリック。

・アラーム動作のリストはナンバー照合と滞留検知をあわせて最大100件まで作成できます。
※アラーム時の映像表示は初期状態では操作モニターに表示されます。
ライブ表示は、メンテナンス設定＞アラームアクション ライブ／再生先でライブモニターに変更可能。

ナンバー照合時のアラーム動作例は下記です。

【アラーム設定】

- ・メッセージ表示あり → 操作モニターのあるウィンドウにポップアップでメッセージウインドを表示。
- ・映像表示あり（再生） → 操作モニターで対象カメラの録画映像をナンバー認識の約5秒前から自動再生。



ナンバー照合や滞留検知のアラーム履歴を確認します。

- ① ナンバーキャッチモニターの「アラーム」タブをクリック。
➡ アラーム履歴がリスト表示されます。
- ② 「オートスクロール」をクリックしON(緑)にしておくと、アラームが発生するたびに、最新のものから上から順にアラーム情報が自動的にスクロールして表示されます。
- ③ リストを選択すると、画面右側に詳細な認識情報が表示されます。
- ④ リストをダブルクリック、または「再生」をクリックすると、操作モニターでナンバー認識時のカメラ映像が再生されます。
※カメラがレコーダーに登録されている場合です。
※滞留検知時は入場時の映像が再生されます。
- ⑤ 「登録ナンバー追加」をクリックすると、ナンバー照合用に登録ナンバーリストへの追加ができます。
- ⑥ 「編集」をクリックすると、認識したナンバー情報の編集ができます。
- ⑦ リストの行の先頭に「✓」を入れ、「処置済」をクリックすると、処置結果が「済」となります。



・本画面で表示できる認識情報は、最新のものから最大100件までです。
※履歴としては最大80万件まで保存可能

条件を指定して、ナンバー照合や滞留検知のアラーム履歴を検索します。

- ① ナンバーキャッチモニターの「アラーム検索」タブをクリック。
- ② 処置状態（未/済）を選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ③ アラーム名、タイプ、ルールを選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
※アラーム名指定時はタイプとルールの選択は不可
- ④ カメラ（場所）を選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ⑤ ナンバーを指定する場合は、陸事、車種、用途、一連番号を入力
- ⑥ 開始日時と終了日時（検索対象期間）を入力。
- ⑦ 比較方法（完全一致/部分一致）を選択し「検索」をクリック。
→ 対象となるアラーム履歴を最新から順に表示
※「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?”も使用可能
例）一連番号に“77?”入力 ⇒ “770”, “777”, “779”等の3桁番号が該当
- ⑧ リストを選択すると、画面右側に詳細な認識情報が表示されます。
- ⑨ リストをダブルクリック、または「再生」をクリックすると、
操作モニターでナンバー認識時のカメラ映像が再生されます。
※カメラがレコーダーに登録されている場合
※滞留検知時は入場時の映像が再生されます
- ⑩ 「登録ナンバー追加」をクリックすると、
ナンバー照合用に登録ナンバーリストへの追加ができます。
- ⑪ 「編集」をクリックすると、認識したナンバー情報の編集ができます。
- ⑫ リストの行の先頭に「✓」を入れ、
「処置済」をクリックすると、処置結果が「済」となります。



- ・ ⑬「CSV出力」、⑭「HTML出力」については 「3-2 ナンバー認識情報検索(2/2)」のページを参照。
- ・ 一度の検索で表示できるアラーム履歴は、最大1,000件（表示は1ページ最大100件）までです。
検索結果が1,000件以上の場合は、検索条件を変更して1,000件以内にしてください。
1,000件を超えた場合、最新から1,000件を表示します。（履歴としては最大80万件まで保存可能）
- ・ 全景画像は、最新から5,000件までの認識情報に表示されます。
それより古いものはサムネイル画像（ナンバー画像）が表示されます。

STEP 6 滞留検知 設定・動作確認

滞留検知に使用するカメラを登録します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「滞留ルール設定」タブをクリック。
初期状態では「滞留ルールなし」(空のルール)が登録されています。
※ルールは最大10件まで

- ② 初回登録時は「滞留ルールなし」のルールを選択。
新たなルールを追加する場合は「追加」をクリック。

- ③ 滞留ルール名を入力 ※最大16文字

- ④ 入場とするカメラ (=滞留時間の計測開始カメラ) をチェック。

- ⑤ 出場とするカメラ (=滞留時間の計測終了カメラ) をチェック。

- ⑥ 対象車両を限定する場合は、
陸事 / 車種 / 用途 / 一連番号 の指定項目を入力し、
比較方法 (完全一致 / 部分一致) を選択。
※「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?”も使用可能
例) 車種に “1??” 入力
⇒ 普通貨物車(大型・中型トラック)が該当

- ⑦ 最後に「設定保存」をクリック。



- ・ 滞留ルールは最大10ルールまで作成できます。
- ・ 入場と出場の判定はカメラ側 (ナンバー認識アプリケーション WV-XAE202WUX)で行っています。
1台で入場と出場の両方のナンバー認識を行うカメラについては (=入出判定が“自動”)、
車両の上下動等で入場と出場の両方で認識される可能性があるため、滞留検知への使用は避けてください。

滞留検知時のアラーム動作を設定します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「アラーム設定」タブをクリック。
初期状態では「アラームなし」（空のアラーム）が登録されています。
※動作は最大100件まで
- ② 初回登録時は「アラームなし」のアラームを選択。
新たなアラームを追加する場合は「追加」をクリック。
- ③ アラーム名を入力。 ※最大16文字
- ④ アラームタイプは「滞留」を選択。
- ⑤ アラームとする滞留時間(入場時からの経過時間)を入力。 ※最大23時間59分
- ⑥ 対象とする滞留ルールを選択。
- ⑦ アラーム時にポップアップ画面を表示する場合：
「メッセージ」にチェック
⇒「編集」をクリックし、表示メッセージを入力（最大50文字）
- ⑧ アラーム時にPCから音を鳴らす場合は「ブザー鳴動」にチェック
- ⑨ アラーム時に映像表示する場合※
「映像」にチェック ⇒ 「ライブ」か「再生」かを選択 ⇒ 表示するカメラを選択
- ⑩ アラーム時に外部機器と連動させる場合は
「端子出力」にチェックし、IOユニットの出力端子を選択
- ⑪ 最後に「設定保存」をクリック。

- ・ 24時間以上の滞留に対してのアラーム動作設定はできません。（滞留検索での検索は可能です）
 - ・ 滞留検知は、ナンバー情報の全項目（陸事・車種・用途・一連番号）一致で判定しています。
同一車両でも外部要因等で入出場時の認識結果が異なった場合は、正しく動作しない可能性があります。
 - ・ アラーム動作のリストはナンバー照合と滞留検知をあわせて最大100件まで作成できます。
- ※アラーム時の映像表示は初期状態では操作モニターに表示されます。
- ライブ表示は、メンテナンス設定＞アラームアクション ライブ／再生先でライブモニターに変更可能。

滞留検知時のアラーム動作例は下記です。

【アラーム設定】

- ・メッセージ表示あり → 操作モニターのあるウインドウにポップアップでメッセージウインドを表示。
- ・映像表示あり（再生） → 操作モニターで対象カメラの録画映像をナンバー認識の約5秒前から自動再生。



条件を指定して、滞留履歴※を検索します。

※「入場時間」「出場時間」「滞留時間」

- ① ナンバーキャッチモニターの「滞留検索」タブをクリック。
- ② 滞留ルールを選択。指定しない場合は、「すべて」を選択。
- ③ 入場カメラと出場カメラを選択（入出場所）
- ④ ナンバーを指定する場合は、陸事、車種、用途、一連番号を入力
- ⑤ 開始日時と終了日時（検索対象期間）を入力。
- ⑥ 滞留時間（入場～出場までの経過時間）を入力。
 - ・数字は直接入力も可能
 - ・指定しない場合は数値を削除する
- ⑦ 比較方法（完全一致/部分一致）を選択し「検索」をクリック。
 - ➔ 対象となる滞留履歴を最新から順に表示
 - ※ 「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?”も使用可能
例）車種に“1??”入力 ⇒ 普通貨物車（大型・中型トラック）が該当
- ⑧ リストを選択すると、画面右側に詳細な認識情報が表示されます。
- ⑨ リストをダブルクリック、または「再生」をクリックすると、操作モニターで入場時のカメラ映像が再生されます。
※カメラがレコーダーに登録されている場合
- ⑩ 「登録ナンバー追加」をクリックすると、ナンバー照合用に登録ナンバーリストへの追加ができます。
- ⑪ 「編集」をクリックすると、認識したナンバー情報の編集ができます。



- ・⑫「CSV出力」、⑬「HTML出力」については 「3-2 ナンバー認識情報検索(2/2)」のページを参照。
- ・一度の検索で表示できる滞留履歴は、最大1,000件（表示は1ページ最大100件）までです。
検索結果が1,000件以上の場合は、検索条件を変更して1,000件以内にしてください。
1,000件を超えた場合、最新から1,000件を表示します。
- ・全景画像は最新から5,000件までの認識情報に表示されます。
それより古いものはサムネイル画像（ナンバー画像）が表示されます。

滞留車両（＝出場していない車両）を検索します。

①～④ 前ページ参照

⑤ 開始日時と終了日時（検索対象期間）を入力。

- ・ 開始日時：検索当日の0時
- ・ 終了日時：検索翌日の現在時刻

※当日より前に入場した車両も含める場合：

- ・ 開始日時：対象期間開始日の0時
- ・ 終了日時：検索翌日の現在時刻

⑥ 滞留時間（入場～出場までの経過時間）を入力。

- 日以上：1日以上
- 日以下：空欄

⑦ 比較方法（完全一致/部分一致）を選択し「検索」をクリック。

→ 対象となる滞留履歴を最新から順に表示

※ 「部分一致」選択時はワイルドカードとして“?” も使用可能
例) 車種に “1??” 入力

⇒ 普通貨物車（大型・中型トラック）が該当

⑧～⑩ 前ページ参照

【注意事項】

- ・ 入場時と出場時にナンバー情報の全項目（陸事、車種、用途、一連番号）が一致していることが条件です。
- ・ 一部読み取れなかったり、間違って認識した項目があった場合は、実態と異なった結果となります。

STEP 7 その他設定

カメラから受信したナンバー認識情報の保存方法、表示方法を設定します。

- ① ナンバーキャッチ設定画面の「履歴ルール設定」タブをクリック。
- ② 履歴の保存についての設定：
 - ・履歴保存期間※1：30日/60日(初期値)/90日/120日
※保存期間を経過した履歴は自動削除
 - ・最大履歴件数※2：1万～80万件(初期値)
※最大件数を超えた場合は古い物から上書き
- ③ ナンバー情報の一部を認識できなかった時の処理：
チェックを入れたナンバー情報項目が認識できなかった場合の動作設定※3

	履歴	表示
“表示する” <初期値>	残す	表示
“表示しない(破棄)”	残さない	非表示
“表示しない(情報は残す)”	残す	

- ④ 同じナンバーを認識した時の処理：
カメラが同じナンバーを認識した場合の動作設定※4

	履歴	表示
“表示する” <初期値>	残す	表示
“表示しない(破棄)”	残さない	非表示
“表示しない(情報は残す)”	残す	

- ⑤ 設定変更した場合、最後に「設定保存」をクリック。



※1：システム納入時に履歴保存期間に注意してください。
長期間保存が必要な場合はバックアップを取ることを推奨します。

※2：カメラから受信した**全景画像**は、最大履歴件数に関わらず**5,000件を超えると古いものから上書き**されます。
サムネイル画像（ナンバー画像）は5000件を超えても残ります。

※3,※4：「表示しない(情報は残す)」を選択した場合、検索の対象にはなり、検索結果としては表示されます。

※4：「表示しない(破棄)」 「表示しない(情報は残す)」を選択した場合、**カメラや入場・出場区分に係わらず同一ナンバーが連続した際は、最初の1回目しか表示やアラーム動作は行いません。**間に別のナンバーが入ると表示やアラーム動作は行います。選択する際は留意してください。

認識情報、アラーム履歴、設定データ、画像データのバックアップ設定をします。

※バックアップ方法：「自動バックアップ」「手動バックアップ」

① ナンバーキャッチ設定画面の「バックアップ設定」タブをクリック。

② バックアップ動作の設定

- ・バックアップ周期 : 6時間/12時間/1日(初期値)/30日/160日
- ・バックアップ時刻 : バックアップ開始時刻
※周期が1日以上の場合(初期値0:00)
- ・バックアップ世代数 : 1～10世代(初期値: 3世代)
- ・バックアップ保存先フォルダー
初期値: C:\ProgramData\i-PRO\ASE334\backup
→ 増設ドライブの任意のフォルダーへの変更を推奨します。

③ 手動バックアップ

④ バックアップからの復旧

⑤ 設定変更した場合、最後に「設定保存」をクリック。

The screenshot shows the 'Backup Settings' (バックアップ設定) tab selected in a software interface. The interface has a top navigation bar with tabs: 基本設定, カメラ設定, 登録ナンバーリスト設定, 照合ルール設定, 滞留ルール設定, アラーム設定, 履歴ルール設定, バックアップ設定 (selected), IOユニット設定, and メンテナンス設定. The main content area includes settings for:

- バックアップ周期: 1日 (dropdown)
- バックアップ時刻: 00 : 00 (time picker)
- バックアップ世代数: 3世代 (dropdown)
- バックアップ保存先フォルダー: F:\ASE334\backup (text field with a 'フォルダー参照' button)
- 手動バックアップ: Includes '実行' (Execute) and 'ステータス問合せ' (Check Status) buttons.
- 復旧: Includes a text field, a 'ファイル参照' (File Reference) button, and an '実行' (Execute) button.

At the bottom, there is a '設定保存' (Save Settings) button. Numbered callouts 1 through 5 are placed on the screen: 1 points to the 'バックアップ設定' tab; 2 points to the 'バックアップ時刻' field; 3 points to the '実行' button in the manual backup section; 4 points to the '復旧' section; 5 points to the '設定保存' button.

【注意事項：バックアップ復旧時】

- ①バックアップファイルの保存先パス名称は、「短く」「半角文字」で入力
- ②別PCに復旧する場合は、ASM300の設定もバックアップ かつ 復旧はASM300データから
- ③ASM300データ復旧後、ASE334データ復旧前に一度再起動を実施
- ④ASE334データ復旧後、一度再起動を実施

The background is a dark blue field filled with a repeating pattern of light blue geometric shapes, including squares, rectangles, and semi-circles. Some shapes are solid, while others are cut out or layered, creating a complex, pixelated effect. The shapes are scattered across the entire frame, with a white curved line at the bottom.

Panasonic CONNECT

版	日付	変更内容
1.0版	2025.6	・初版 発行
1.1版	2025.9.16	・P.27 IOユニットの接点出力についての誤記修正 “メイク時間（オン）時間” → “オン時間”